

お知らせします 市の財政状況

問い合わせ 財政課

市では、市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくため、年に2回「財政状況」を公表しています。

令和元年度下半期分（10月～3月）の状況等についてお知らせします。

一般会計の状況

令和元年度の一般会計の予算については、当初予算504億円から、4回の補正を行い、最終予算額は527億7,212万円となりました。

歳入では、基幹財源である市税は、個人市民税や固定資産税が増収の見通しであるものの、法人市民税が大幅な減収となる見込みで、引き続き厳しい状況となっています。

一方、歳出では、介護保険特別会計繰出金など、福祉関係の経費である民生費が引き続き増加しています。このような状況から、経常経費の削減に努めましたが、なおも不足する財源については、基金の取り崩しや市債の発行などにより補っている状況です。

今後も、厳しい財政状況が見込まれますが、青梅市の将来像である、「みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅」の実現に向けて、事業の推進を図るとともに、市民の皆さんに安定した行政サービスを提供するため、行財政改革を推進し、健全な財政基盤の確立に努めます。

特別会計の状況

モーターボート競走事業会計については、全国発売競走の「S G グランドチャンピオン」を開催したことなどにより、電話投票を中心に売上が好調に推移しました。この結果、令和元年度も一般会計への繰り出しを行うことができました。



令和元年度総合病院利用状況

区分	患者数	
	延べ数	1日平均
入院	14万1,552人 (14万8,516人)	387人 (407人)
外来	29万4,325人 (29万3,887人)	1,216人 (1,205人)

票を中心に売上が好調に推移しました。この結果、令和元年度も一般会計への繰り出しを行うことができました。

今後も収益金の確保に向けて、全国発売競走の誘致等売上向上策に取り組んでいきます。

なお、病院事業における令和元年度の総合病院利用患者数の状況は左表のとおりです。

※（ ）内は前年度数値

令和元年度 予算執行状況

令和元年度は、一般会計のほか、特定の事業を行うために、4つの特別会計、モーターボート競走事業会計および病院事業会計を設けてそれぞれ経理を行いました。

各会計の令和2年3月31日現在の執行状況は、右表のとおりです。

なお、モーターボート競走事業会計と病院事業会計を除いて、収入額と支出額の確定は、出納整理期間の終わる5月末日となります。

決算の内容は、広報おうめ12月15日号でお知らせする予定です。

令和元年度末各会計予算現額および3月末現在の執行状況

区分	最終予算現額	収入率 (歳入)	執行率 (歳出)	
一般会計	530億3,037万円	92.0%	90.3%	
特別会計	国民健康保険会計	144億5,668万円	94.3%	93.4%
	下水道事業会計	41億8,500万円	91.9%	88.2%
	後期高齢者医療会計	32億4,622万円	99.2%	98.8%
	介護保険会計	98億1,699万円	95.1%	90.6%
モーターボート競走事業会計	収益的収支	546億6,640万円	95.7%	93.7%
	資本的収入	0万円	0.0%	-
	資本的支出	3億441万円	-	99.9%
病院事業会計	収益的収支	174億1,521万円	97.5%	98.5%
	資本的収入	5億2,221万円	102.9%	-
	資本的支出	22億3,728万円	-	91.7%

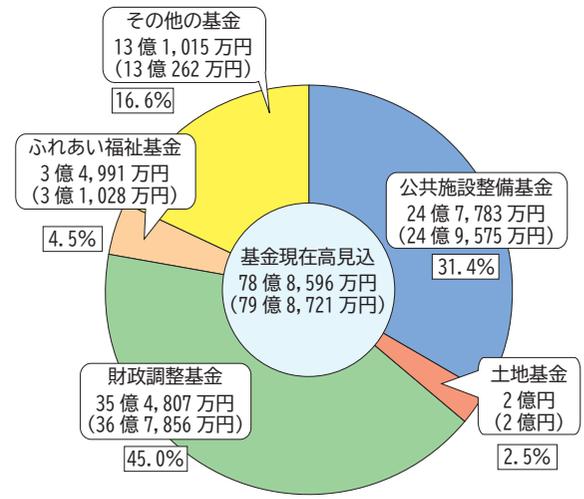
※最終予算現額には、前年度からの繰越額を含みます。

市有財産の状況

市は、公園や学校など、いろいろな財産を持っています。

- (1) 土地…307万3,498㎡
- (2) 建物…35万7,562㎡
- (3) 基金の残高…基金とは、将来のまちづくりなどに備えた積立金で、家計でたとえると「預金」に当たります。

基金の令和元年度末現在高見込みは、下図のとおりです。

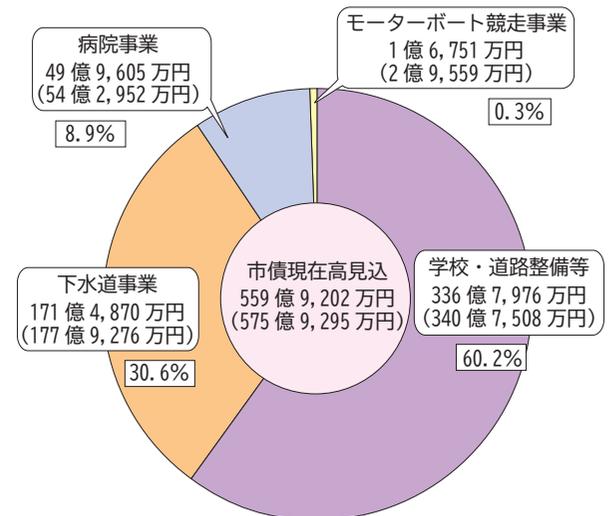


市民1人当たり5.9万円（ ）内は前年度数値

市債の状況

市債には、学校、下水道等公共施設の建設、整備に必要な経費を年度間において平準化し、これらの施設を将来利用する市民の皆さんにも公平に負担していただくための建設市債と、財源不足を補うための赤字市債があり、国などから長期的に借り入れ、償還するものです。

市債の令和元年度末現在高見込みは、下図のとおりです。



市民1人当たり4.2万円（ ）内は前年度数値

市民1人当たりの金額は、令和2年4月1日現在の人口をもとに計算しています。

※構成比は端数調整しています。

マスク等を寄付していただきありがとうございました

新型コロナウイルス感染防止のため、皆さんから、マスク等を寄付していただきました。ありがとうございました。

また、マスクの有効活用を図るため、市役所1階総合案内と各市民センターに、寄付箱を設置しました。家庭や事業所等でマスク（未使用、未開封のものに限ります）が余っている場合は、お持ちください。

なお、市では、新型コロナウイルス感染症への対策に要する経費に充てるため、「新型コロナウイルス対策助け合い基金」を設置しています。

皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ 財政課



マスク等を寄付していただいた方（令和2年5月31日現在）

企業・団体名	所在地	物品
青梅市日本中国友好協会	青梅市	マスク
京セラ株式会社	京都府京都市	フェイスシールド
東京青梅ロータリークラブ	青梅市	フェイスシールド
武州工業株式会社	青梅市	除菌スプレー台
田島ルーフィング株式会社	東京都千代田区	防護服、フェイスシールド
医療法人社団成木長生病院	青梅市	マスク

※特に多くの寄付をいただいた方（個人を除く）で、公表を承諾した方のみ